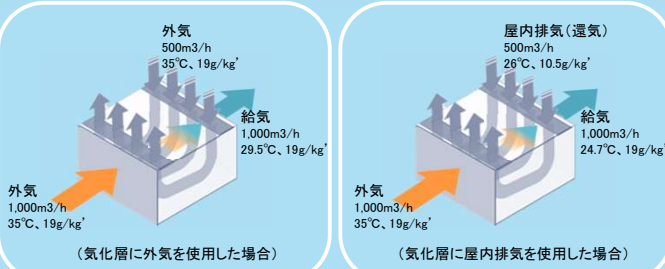


メガクルールのメリット

わずかな水で冷却

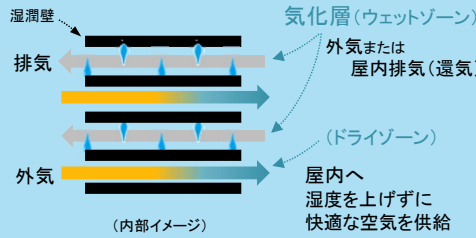
気化させる程度のわずかな水道使用量で冷却します。
(風量1,000m³/h当り約120mL/m)

また給気風量に対して屋内の排気風量を半分にできる為、陽圧化が可能です。



快適性UP! 冷却時に湿度を上げません

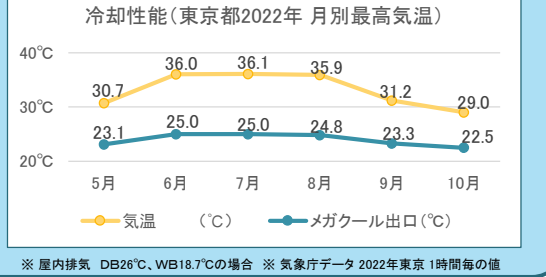
機内にある熱交換モジュールは冷却する空気と外気または室内排気(還気)が交互に流れる独自構造です。水の気化蒸発は気化層(排気側)の空気で行われるため、供給する空気の(絶対)湿度を上げることなく冷却します。



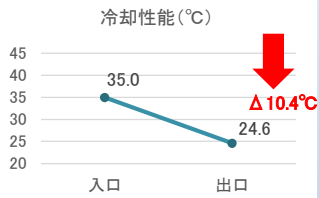
高い冷却性能

フロンを使用せずファンと水だけで高い冷却性能を発揮。

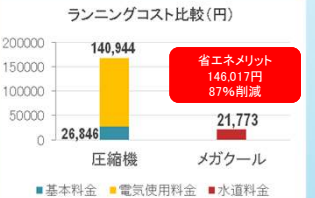
また給水を止めると、熱交換器としても使用可能です。
(気化層に室内排気を使用した場合)



最大のポイントは高気密気化現象



水のチカラでエネルギーコスト削減



人・社会・地球を守る環境づくりでCSRの向上に

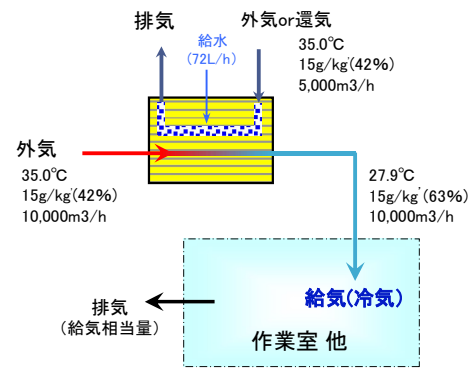
ヒートアイランド対策としても有効です。
(外調機排熱温度50°C→メガクルール27°C)



メガクルールの利用法

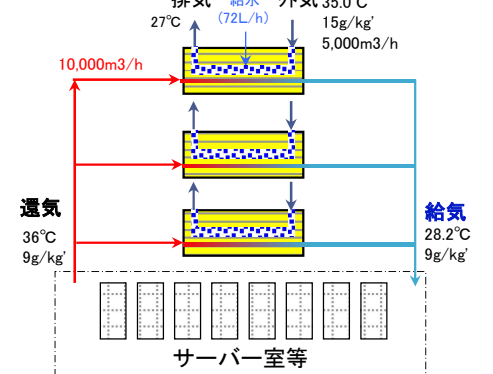
Case 1 外気処理(夏期)

《双流型》



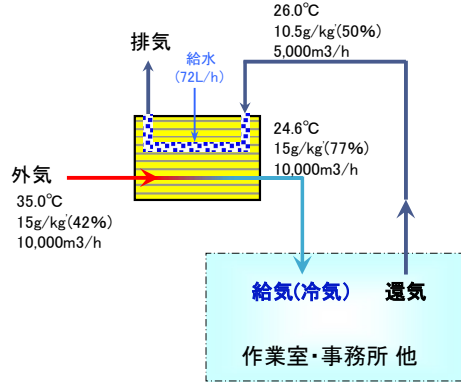
例1) データセンター冷却機として

《双流型》



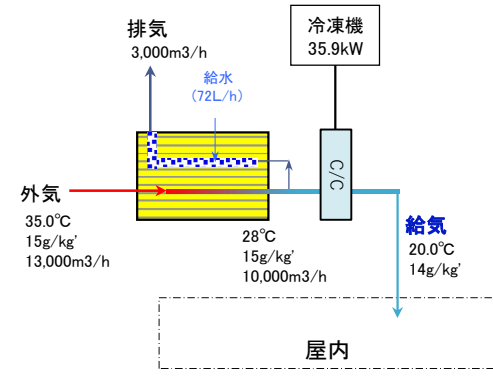
Case 2 外気処理(夏期)

《双流型》



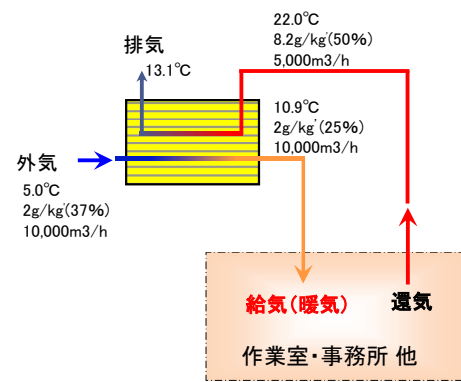
例2) 冷凍機削減策として

《分流型》



Case 3 顕熱交換(冬期)

《双流型》



例3) 高機能換気システムとして

《双流型》

